

【1】式の値と数量の表現

(1) 35

(2) 3

(3) $3x - 500$

(4) $2v + 3w$

(5) $2a + 2b$

(6) $2\pi r$

(7) $0.8x + y$

(8) $a + bt$

【2】倍数や余りを文字で表す

(9) $4n$

(10) $7n$

(11) $4n + 1$

(12) $5n + 2$

(13) $6n + 5$

(14) $10n + 3$

(15) $3n, 3n + 3, 3n + 6$

(16) $4n, 4n + 4, 4n + 8$

【3】式を使った説明

(17) 連続する2つの整数を $n, n + 1$ とすると、積は $n(n + 1)$ 。連続する2つの整数のどちらかは偶数なので、積は偶数である。

(18) 連続する3つの整数を $n, n + 1, n + 2$ とすると、和は $3n + 3 = 3(n + 1)$ 。よって3の倍数である。

(19) 連続する3つの偶数を $2n, 2n + 2, 2n + 4$ とすると、和は $6n + 6 = 6(n + 1)$ 。よって6の倍数である。

(20) 連続する3つの奇数を $2n + 1, 2n + 3, 2n + 5$ とすると、和は $6n + 9 = 3(2n + 3)$ 。よって3の倍数である。

(21) 4の倍数を $4m, 4n$ とすると、和は $4m + 4n = 4(m + n)$ 。よって4の倍数である。

(22) 6の倍数を $6m, 6n$ とすると、差は $6m - 6n = 6(m - n)$ 。よって6の倍数である。

(23) $3m + 1, 3n + 2$ とすると、和は $3m + 1 + 3n + 2 = 3(m + n + 1)$ 。よって3の倍数である。

(24) $5m + 2, 5n + 3$ とすると、和は $5m + 2 + 5n + 3 = 5(m + n + 1)$ 。よって5の倍数である。

【4】説明のために式を変形する

$$(25) \quad 2(2n + 1)$$

$$(26) \quad 4(n + 1)$$

$$(27) \quad 3(n + 1)$$

$$(28) \quad 6(n + 1)$$

$$(29) \quad 3(m + n)$$

$$(30) \quad 5(m - n)$$

$$(31) \quad 3(m + n + 1)$$

$$(32) \quad 5(m + n + 1)$$